

休校前の西浦小でロケ

敦賀市出身で、日本映画大映画学部四年山下大裕さん(三三)の監督による自主映画「弥生の虹」の撮影が二十八日、三月で休校する同市色浜の西浦小学校で始まった。エキストラとして市民も初参加した。(増井のぞみ)

西浦小は、敦賀半島の先端に位置する海辺の学校。児童数は年々減少して、現在は九人。山下さんは、映画の撮影場所を探している際に同校が休校することを知り、映画

「弥生の虹」は、廃校を控えた高校最後の卒業式に焦点を当てた青春ドラマ。敦賀気比高二年の俳優アイドル・浜頭優さ

ら(三三)ら高校生役の男女三人がメインキャストとなり、片思いのせつなさや卒業の喜びが交じった思いを描写する。

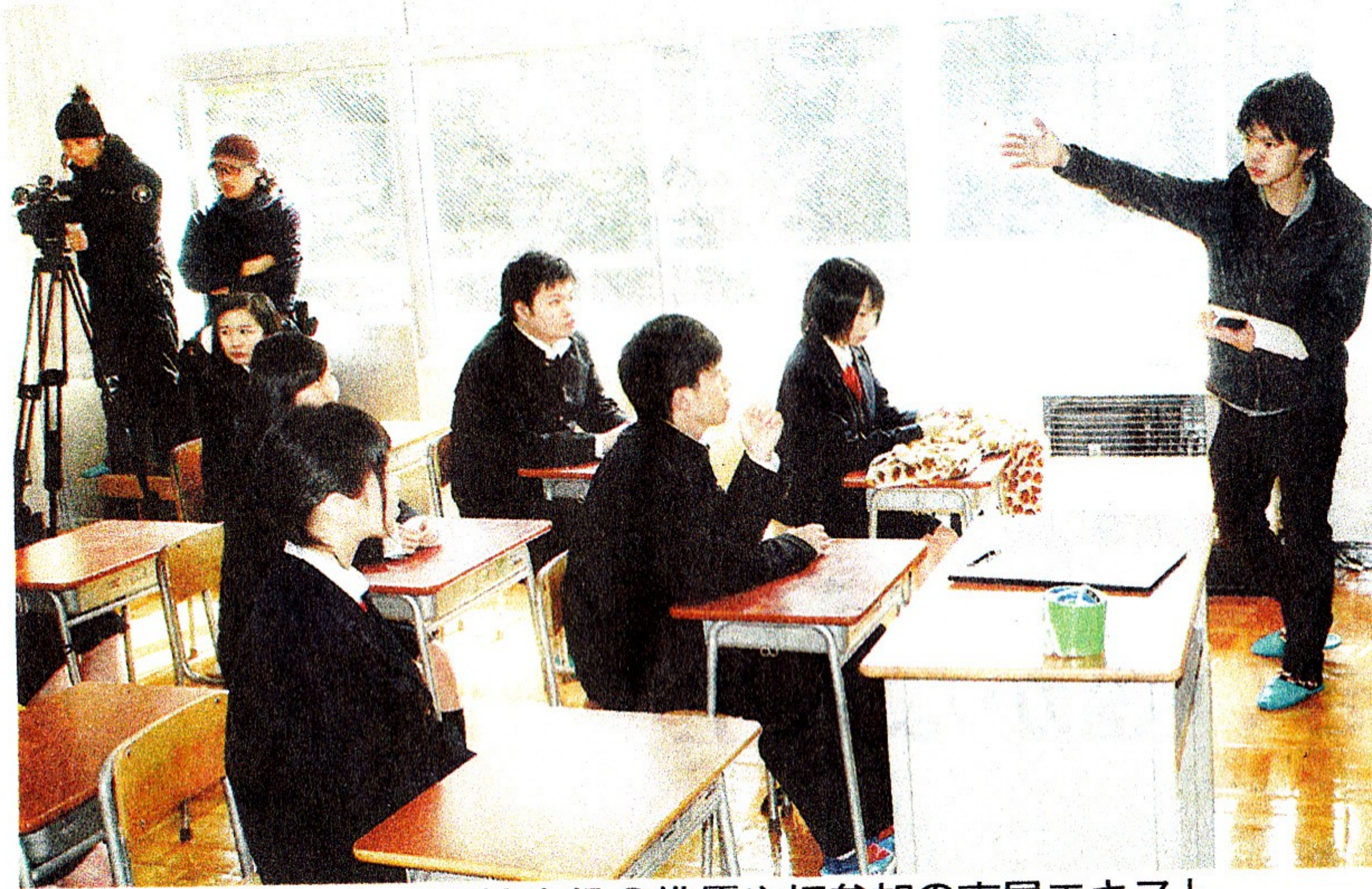
西浦小にちなんで、映画では「西浦高校」として登場する。二十八日は敦賀湾を望む三階の教室で日常風景

を撮影した。エキストラの高校生役として、学ラン姿で参加した同市色浜の病院事務、古川勝太さん(三三)は「母校の西浦小でいい思い出になる。自然な演技がしたい」と意気込んだ。

一日は保護者役のエキストラが加わり卒業式のシーンを撮影する予定。撮影は三月八日までで、夏には東京と敦賀で完成披露試写会を開く予定。

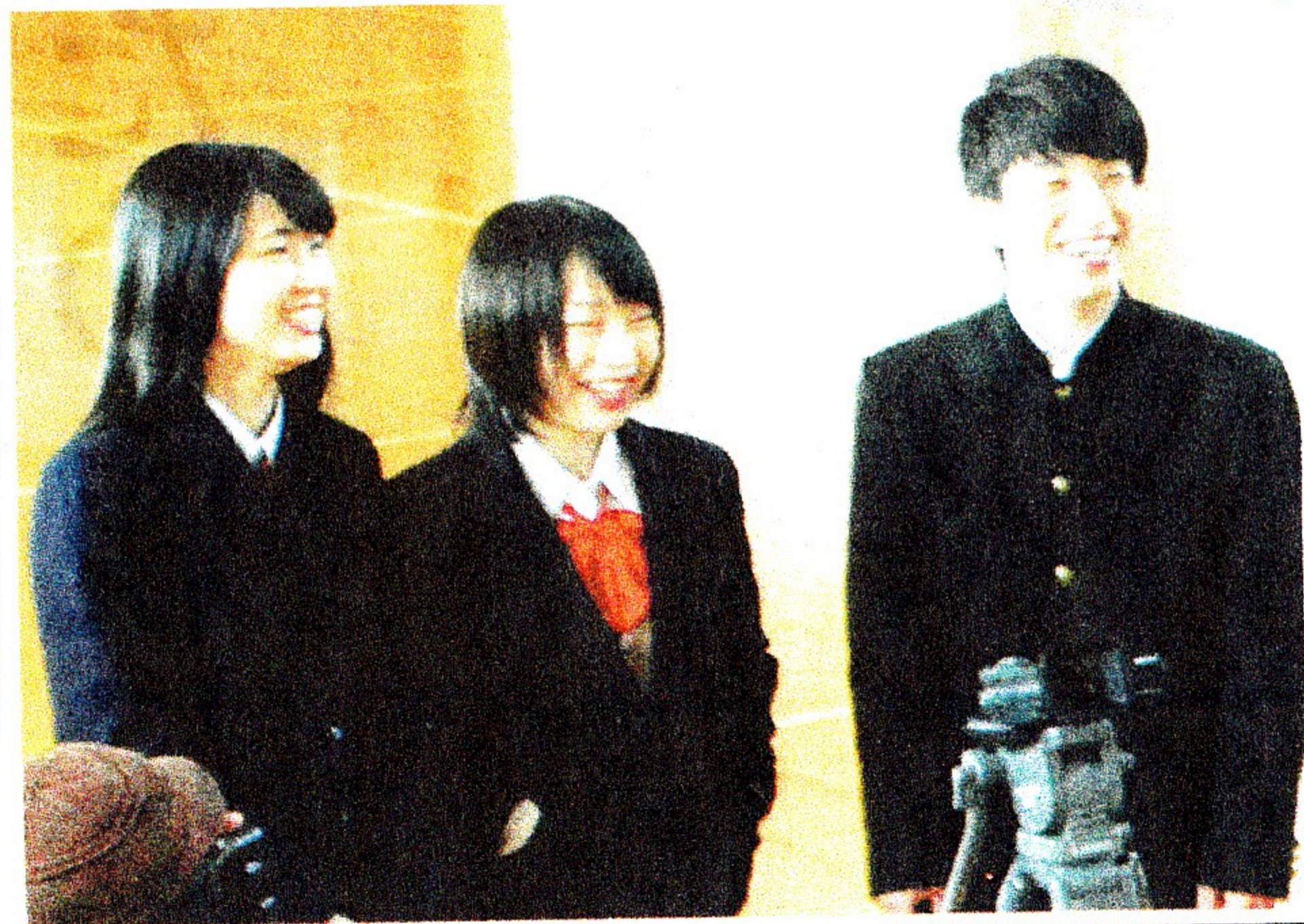
山下さんは「休校する西浦小学校の記念となる映画。卒業を迎えた高校生のピュアな思いを伝えたい」と作品にかける思いを話した。

敦賀出身 山下監督の映画



監督として高校生役の俳優や初参加の市民エキストラに指示を出す山下さん(いずれも敦賀市西浦小で)

市民エキストラ初参加



敦賀映画の撮影に臨む浜頭さん(左)らメインキャストの3人